第4回定例町議会

一般質問

後期高齢者医療制度における人間ドック費用の助成を

青坂　賢二　議員

質問

後期高齢者医療制度の導入によって、従来行っていた人間ドックを受診できない75歳以上の高齢者に対し政府の助成によって中止していた51市町村のうち、24市町村が再開しました。町は政府の助成によって人間ドックは再開する意思があるのかどうか、75歳以上の人口や人間ドックを受診した数を把握していたなら報告されたい。

七五歳以上の方には健康診査の受診を奨励している

和田　良司　町長

答弁

北海道では75歳以上の人口は57万2千9百22名で、奥尻町では5百41名おります。奥尻町では人間ドックを受診した方はいませんが健康診査を受けた方は13名おりますが、人間ドックを再開する考えはなく、健康診査の受診とガン検診は半額助成となるので、この受診について周知を図っていきたい。

定額給付金の奥尻町での支給予定額と町長の評価について

伊藤　実　議員

質問

政府が景気対策と生活支援を目的として支給を決めた定額給付金の奥尻町への支給予定額はいくらになるのでしょうか。また、町長の評価についての見解を尋ねたい。さらに、定額給付金は申請しなければ支給されない場合が想定されますが、町としてどのように対応するのでしょうか。

景気対策としては評価はされても増税も背後にあり効果は薄れている

和田　良司　町長

尻町において予定されている支給額は、65歳以上は1千40人、18歳以下は4百80人なので3千40万円、65歳以上の方と、18歳以下の方を除くと、約1千9百人なので2千2百80万円となり、全体総額では5千3百20万円と試算ができます。

医師2名を公募しているが採用のメドはたっているのか

制野　征男　議員

質問

奥尻町の地域医療を考える会の報告に基づく住民への説明会は開催する予定はあるのでしょうか。特別養護老人ホームとグループホーム・高齢者下宿とどちらを優先する考えなのでしょうか。医師2名を公募しているが採用のメドはたっているのでしょうか。副院長1名には町長が先の議会で答弁した重大な決意を12月中に伝える意思は持っているのでしょうか。

答弁

給付金の目的が景気対策なのか、社会福祉対策なのか、また、増税論議がされていることから、少し効果は薄れてきている感はいなめません。しかし、低所得者や高齢者にとっては朗報と受け止めており、一定の期待はもっております。奥尻町の地域医療を考える会の報告に基づき町長としての考えをまとめている最中であり、2～3月中に住民への説明会を開く予定でおります。

特別養護老人ホームは30人規模であれば経営も厳しく、また、待機中の人数を考慮すれば20人の増床が求められていると認識しております。認知症の数を把握しているのかとの指摘もされましたが、ホームにおける人数は個人情報の関係で把握できていないですけれども、国保病院の患者には若干名いるとの報告は受けております。

医師採用の努力をしている、住民への説明会は2～3月までに

和田　良司　町長

医師2名を公募しておりますが、現在のところ1名については懸命に努力している最中であります。

先の議会で答弁した1名の医師については12月中に申し渡すことにしております。

ふるさと納税は特定な事業に限定した公募が効果的ではないのか

制野　征男　議員

質問

ふるさと納税は町のホームページで公募しているが本来の行政で行う事業の羅列にすぎず、寄付を行う立場にすればインパクトのないものです。パークゴルフ場の建設、国営草地の花畑の設営など特定の事業としたほうが効果的であり、改善すべきです。